

平成16年（行ウ）第68号 公金支出差止等請求事件

原告 村越哲雄 外50名

被告 千葉県知事 外2名

上 申 書

平成19年8月9日

千葉地方裁判所民事第3部合議4係 御中

被告兩名訴訟代理人弁護士

伴

義 聖



本件については、原告らから平成19年5月18日付けで文書送付嘱託の申立てがなされ、これに対し被告らは、同年7月5日付け文書送付嘱託申立書に対する意見書において意見を述べたところであるが、今般、本件と同種事件につき、別紙2のさいたま地裁書記官の関東地方整備局河川部河川計画課宛て送付嘱託に対し、別紙1の同課課長の回答が発せられたので、参考までにこれらを添付のうえ上申する。

本件の文書送付嘱託の申立ては上記と同様のものであるため、送付嘱託の必要性はないと考えられる。

以上

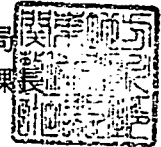


(別紙1)

国関整河計第66号
平成19年8月6日

さいたま地方裁判所
第4民事部合議係
裁判所書記官 東 礼子 様

国土交通省関東地方整備局
河川部河川計画課



文書送付囑託について (回答)

送付囑託のありました「(別紙) 記載の八斗島地点のピーク流量16,750立方メートルという数値の算出に用いられた、八斗島地点上流部の氾濫箇所・氾濫箇所別氾濫流量・氾濫区域・洪水調節施設の調節効果のデータ等、八斗島地点上流部の流出計算の基礎資料及び計算過程の記載された文書(以下「送付囑託文書」という。)」は下記の理由により不存在のため、送付することはできません。

記

1 文書不存在の理由

利根川水系利根川浸水想定区域図(以下「浸水想定区域図」という。)は、カスリーン台風が再来した場合、利根川における現在の河道の整備状況、既設ダム等の洪水調節施設の状況等を踏まえ、実際に発生する洪水流量を想定し、国が管理する区間において破堤・氾濫した場合に拡がる浸水範囲と浸水の深さを示すものである。

別紙の「図-1 対象洪水ハイドログラフ」は実際に発生すると想定される洪水の八斗島地点における流量の時間的変化である。現況の河道やダム等の状況を流出計算モデルに組み込み、カスリーン台風と同様の降雨があったと想定して、八斗島地点の洪水流量を時間毎に算出している。

送付囑託文書はこのハイドログラフを導き出す計算過程において、計算機の中で計算された多くの数字の一部のようなものであり、浸水想定区域図の作成には不要なデータ等であるため、文書として存在しない。

2 文書送付囑託申立書(補足説明)の内容について

基本高水のピーク流量は洪水防御の目標とする規模の流量であり、利根川では八斗島基準地点で昭和22年のカスリーン台風規模の毎秒22,000立方メートルとしているが、

これは上流にダム等の洪水調節施設がないという条件下で、八斗島地点に押し寄せる水の最大流量である。

別紙の「図-1 対象洪水ハイドログラフ」は、現況の河道やダム等の状況下でカスリーン台風が再来した際に、河道からの溢水等による氾濫を考慮して、実際に八斗島地点の河道に到達する洪水流量（最大で毎秒16,750立方メートル）を想定しているのであり、基本高水のピーク流量（毎秒22,000立方メートル）と比較し、その流量に違いがあるのは当然であり、双方のカスリーン台風の洪水規模が相反するものと結論づける根拠には到底なり得ない。

【本件の問い合わせ先】

国土交通省関東地方整備局

河川部河川計画課

建設専門官 竹本隆之

TEL:048-601-3151(内線3619)

FAX:048-600-1378

(別紙2)

平成16年(行ウ)第47号 公金支出差止等請求住民訴訟事件

原告 藤永知子外31名

被告 埼玉県知事外4名

送付嘱託書

平成19年7月11日

関東地方整備局河川部河川計画課流域治水係 御中

さいたま地方裁判所第4民事部合議係

裁判所書記官 東 礼子

TEL 048 (863) 4111 内線 2140

FAX 048 (863) 4199



頭書の事件について、民事訴訟法226条により、下記書類等を送付してください。

なお、本件の次回期日は平成19年9月12日ですので、進行の都合上、8月12日頃までに送付いただくようご配慮ください。お忙しいところお手数をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。

記

(別紙) 記載の八斗島地点のピーク流量16,750立方メートルという数値の算出に用いられた、八斗島地点上流部の氾濫箇所・氾濫箇所別氾濫流量・氾濫区域・洪水調節施設の調節効果のデータ等、八斗島地点上流部の流出計算の基礎資料及び計算過程の記載された文書

(文書の送付費用として、郵便切手1000円分を添付します。)

1. 利根川外流河川

2. 利根川水系

229号-1

対象洪水 昭和22年9月洪水
(降雨量 連続降雨 八斗島上流3日雨量 総雨量318mm)

利根川対象流量 (昭和22年9月) <八斗島>

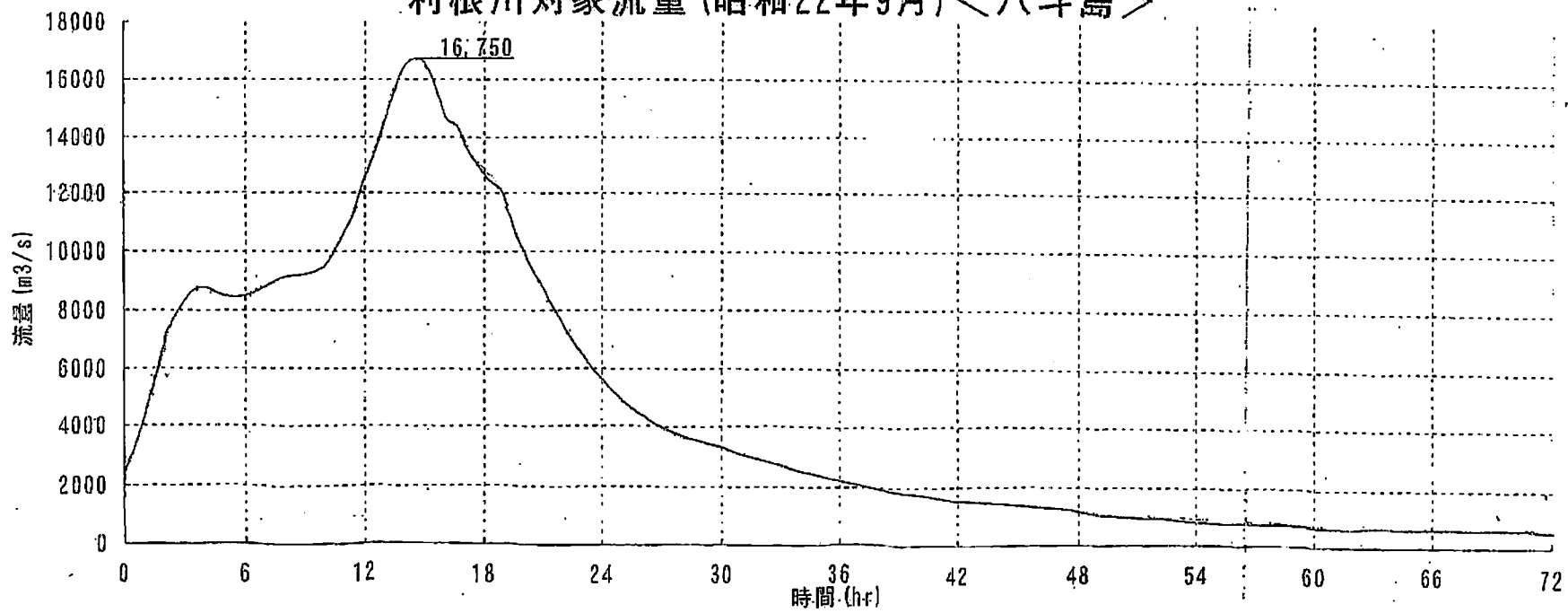


図-1 対象洪水 ハイドログラフ

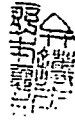
利根川水系

(別紙)

2

4

8



補足資料

S 2 2 年の実績降雨を与え、現況の断面、現況の洪水調節施設で流出計算を行った場合、上流部で氾濫したうえで八斗島のピーク流量は $16,750\text{m}^3/\text{s}$ となる。(浸水想定の外力)